

令和7年10月27日

自動運転サービス導入に関する大型 EV 自動運転バス購入及び 3 期社会実証における
自動運転車両調律等業務委託に係る事業者選定委員会の審査結果について

1 募集提案の概要

本業務は、和光市における自動運転サービスの実現に向け、大型 EV 自動運転バスを購入し、自動運転システムの調整及び実証実験を行うとともに、そこで得られた課題を検証・改善し、自動運転レベル4実装に資するデータ等を取得することを目的としています。

(1) 業務名

- ア 自動運転サービス導入に関する大型 EV 自動運転バス購入
- イ 自動運転サービス導入に関する 3 期社会実証における自動運転車両調律等業務

(2) 履行期間

- ア 令和7年12月19日（納入期限）
- イ 契約締結日から令和8年2月27日まで

(3) 委託料上限額

- ア 96,800,000 円（消費税及び地方消費税を含む。）
- イ 12,980,000 円（消費税及び地方消費税を含む。）

※本プロポーザルは、相関する 2 つの業務を一体として同時に審査し、総合的判断のもと 1 者を選定します。

2 選定の経過

	項目	期日等
1	募集要領の公表・配布	令和7年 9 月 19 日（金）
2	質問書提出期限	令和7年 9 月 25 日（木） 正午まで
3	質問に対する回答の通知	令和7年 10 月 1 日（水）
4	参加申込書及び企画提案書等 提出期限	令和7年 10 月 8 日（水） 正午まで
5	審査（プレゼンテーション）	令和7年 10 月 20 日（月）

3 選定委員会委員

(和光市自動運転サービス導入事業に関する事業者選定委員会設置要綱第3条)

規定	氏 名	所属・職	備考
第1号	福田 順一	和光市都市整備部長	委員長
第2号	渡邊 宗臣	和光市都市整備部次長兼都市整備課長	副委員長
第3号	前島 祐三	和光市都市整備部次長兼道路安全課長	
第4号	黒田 繁	和光市都市整備部公共交通政策室長	
第5号	高野 晴之	和光市企画部財政課長	
第6号	吉田 樹	福島大学経済経営学類 教授	
第6号	中野 公彦	東京大学 生産技術研究所 ハーモニック・モビリティ研究センター長 教授	

4 審査方法

自動運転サービス導入に関する大型 EV 自動運転バス購入及び3期社会実証における自動運転車両調律等業務委託に係る公募型プロポーザル実施要領に基づき、提案者の企画提案書及びプレゼンテーションと見積金額による評価点の合計点に基づいて審査を実施しました。なお、その評価点の合計点が満点の6割に満たない場合は、優先交渉権者として特定しないものとしています。

5 企画提案評価基準（配点は委員1人あたりの数字）

評価区分	業務	評価項目	評価事項	評価点
施 業 体 務 制 実	ア イ	実績・体制	・ 類似業務の実績や成果を十分に有しているか ・ 業務遂行に十分な人員配置がされているか	5
企 画 提 案 内 容	ア	提案車両の性能	・ 提案された車両が、本事業の目的や想定される運行に適合しているか ・ 車両コスト、運用コスト、将来的な技術拡張性などを総合的に考慮した、妥当な選定理由が示されているか	5
	ア	自動運転システムの性能	・ 提案された自動運転システムの技術的な優位性が具体的に示されているか ・ 車両のセンサー構成（LiDAR、カメラ、レーダー等）が、悪天候、夜間、複雑な交通状況など、多様な運行環境において安定した自動運転に寄与するものであるか	5

			・ 自動運転システムの冗長性（MRM 機能や冗長化システムなど）が確保されているか	
	ア	機器の保証	・ 車両本体及び主要な機器（LiDAR、カメラ、レーダー等）について、自動運転の安定運行を継続するために、それぞれ保証期間が十分に確保されているか ・ 故障や不具合発生時の保証対応範囲（修理、交換、代替品の提供など）が明確に記載されているか	15
	イ	技術提案 （社会実証）	・ 目標である自動運転率 95.21%以上を達成するための自動運転システム調整について、具体的な計画やその妥当性が示されているか ・ 運転士トレーニング内容について、システム機能、リスク管理、緊急時の対応など、必要な知識が網羅的に含まれており、和光市の運行ルート特有の課題に対する知識が盛り込まれているか ・ 自動運転技術の主な課題に対し、具体的かつ実現可能な解決策が提案されているか ・ 検証項目を評価する手法が提案されており、適切であるか ・ 社会受容性の醸成を目的とした事業説明や PR 方法が示されており、効果がある提案となっているか	20
	イ	技術提案 （実現性）	・ 自動運転レベル 4 の実現に向けた具体的なプロセスが示されているか ・ 和光市の示すロードマップに対し、実現可能で付加的な技術提案が盛り込まれているか ・ 将来的な事業化を見据えた、運用コスト削減策やサービス拡張性に関する具体的な提案があるか	20
	イ	サポート 体制	・ 車両納入後、技術的な問い合わせやトラブルに迅速に対応できる具体的なサポート体制が示されているか ・ 定期的なメンテナンスやソフトウェアアップデートに関する計画が明確であるか	10
	ア	参考見積 評価点	評価点＝（最低見積金額／当該見積金額）×10 ※小数第1位を四捨五入する。	10
	イ			10
合 計				100

6 応募事業者

1 者

7 選定結果及び講評

(1) 選定結果

事業者名	合計点	平均点	
先進モビリティ株式会社	532	76.0	優先交渉権者

(2) 講評

- 和光市を含む全国各地での自動運転に関する豊富な実証実験の実績を有しており、自動運転レベル4の実現が期待できる
- 和光市でのこれまでの実証を通じて、走行ルートリスクポイントを熟知している
- 提案された車両は、走行距離が少なく、新車に近い状態である点が評価できる
- 自動運転での走行実績は少ないと考えられるため、社会実証に向けて十分に調律や準備を進めてほしい
- 将来的な事業化を見据え、他事業と整合を図りつつ、関係事業者としての密な協議や連携に期待したい
- 3期社会実証等運営支援業務の委託事業者と連携して、社会受容性の醸成や市民理解を深める取組に期待したい

以上